

東京戦争戦後秘話 映画で遺書を残して死んだ男の物語 (1970)

メディア 映画

ジャンル ドラマ 戦争

製作国 日本

色彩 B&W

初公開日 1970/06/27

【解説】

原正孝と佐々木守の脚本を大島渚が監督した前衛的作品。音楽は武満徹。

映画製作に没頭する元木象一は、自分の友人である「あいつ」がカメラを持ち出し、東京の風景を撮影しながら飛び降り自殺する、という幻想にとりつかれてしまう。象一は自分の恋人である泰子を「あいつ」の恋人と思い込むようになり、泰子も「あいつ」の恋人として振る舞うことにした。象一は「あいつ」の影を追って「あいつ」が撮影した東京をさまよひ、やがて「あいつ」と同じ風景を撮影することにする。泰子は象一と「あいつ」との関係に気づき、カメラの前に立ち二人の撮影風景を変えてしまおうとするが、象一は「あいつ」の影に誘われ、ビルの屋上にのぼっていくのだった。

【クレジット】

監督 大島渚 Nagisa Oshima

製作 山口卓治

脚本 原正孝

佐々木守

撮影監督 成島東一郎

美術 戸田重昌

編集 浦岡敬一

音楽 武満徹 Toru Takemitsu

出演 後藤和夫 元木象一

岩崎恵美子 泰子